

第一会場 2C410教室

- 8:55 - 9:10 清水 天馬 複数遺伝子によるクロララクニオン藻の系統解析
- 9:10 - 9:25 中村 篤史 高度セシウム吸収藻nak-9株の分類学的位置
- 9:25 - 9:40 山梨 早希 ユーグリファ目生物における珪酸被殻構築様式の多様性に関する研究
- 9:40 - 9:55 春名 紗季江 雪上から得られた原生生物 *Spumella* sp.に関する研究
- 10:10 - 10:25 大石 智子 海洋酸性化が*Chrysochromulina* sp.に与える影響ー炭酸系調節による培養系の確立ー
- 10:25 - 10:40 北澤 佑果 西部北太平洋域における蛍光性溶存態有機物の分布と光分解の影響
- 10:40 - 10:55 船井 夏菜子 微生物群集による蛍光性溶存態有機物の生産に関する実験的研究
- 10:55 - 11:10 松下 幼奈 下田沖における炭酸系の季節変動とその支配要因
- 11:10 - 11:25 内海 邑 Wolbachia is Wolbachia and its circumstance
- 12:15 - 12:30 小長谷 達郎 キタキチョウの夏型雄の精子生産過程と注入精子数
- 12:30 - 12:45 武藤 直樹 アゲハ類において精子注入数に影響を与える有核精子の運動活性
- 12:45 - 13:00 金崎 健太 温暖化処理が高山植物の葉に与える影響～かたち・はたらき・きせつはどうか～
- 13:00 - 13:15 市川 美沙紀 草原の管理手法の違いで植物の芽生えから定着はどのように異なるか？
- 13:15 - 13:30 西村 貴皓 冷温帯成熟林における土壌呼吸の空間的不均一性とその要因
- 13:45 - 14:00 藏満 司夢 カリヤコマユバチ *Cotesia kariyai*における寄主の餌によるパフォーマンスの違い
- 14:00 - 14:15 高谷 優那 *Chelonus inanitus*における寄主・非寄主に対する反応の違い
- 14:15 - 14:30 加藤 大智 菅平高原実験センター周辺の双翅目相(昆虫綱)
- 14:30 - 14:45 松嶋 美智代 ヤマトシロアリ *Reticulitermes speratus*(Kolbe)の発生学的研究(昆虫綱・シロアリ目・ミゾガシラシロアリ科)
- 15:15 - 15:30 石川 絵里 低強度の塩ストレス処理による耐塩性遺伝子組換えユーカリ評価手法の開発
- 15:30 - 15:45 古矢 加奈 *mangrin*遺伝子を導入した環境ストレス耐性バレイシヨの作製と評価
- 15:45 - 16:00 中山 朋美 グローバリゼーションのもとで学術研究に対応した生物材料譲渡契約書の検討

第二会場 2C404教室

8:55 - 9:10	鈴木 崇哉	新規除草剤AAA-0965のカロテノイド生合成系への影響
9:10 - 9:25	高橋 直人	5-アミノレブリン酸とストロビルリン系殺菌剤の植物への生育促進効果
9:25 - 9:40	中野 香	植物生育抑制活性を有する薬用植物由来の揮発性物質の探索とクミンアルデヒドの作用特性
9:40 - 9:55	池田 倭	パラコートによるイネ根部伸長抑制作用の特徴とその発現要因
10:10 - 10:25	井原 希	円石藻の超長鎖脂質アルケノン・アルケンの代謝と生理機能: 明暗周期における組成変化からの解析
10:25 - 10:40	渡辺 祐太	超長鎖脂肪酸合成阻害剤を用いた円石藻によるAlkenone合成経路の探索
10:40 - 10:55	川口 美咲	モデルラン藻における遺伝子発現制御のための人工センサーの構築
10:55 - 11:10	曾根 薫	分岐鎖飽和脂肪酸を生産するラン藻の創出
11:10 - 11:25	西本 謙太郎	培地中のMn欠乏がラン藻のアルカリフォスファターゼの発現に与える影響の解析
12:15 - 12:30	森山 和	植物の茎における傷害に対する応答
12:30 - 12:45	三木 雄大	ポプラ根における導管液タンパク質の遺伝子発現
12:45 - 13:00	高野 葵	ミヤコグサにおける亜鉛集積と関連遺伝子の解析
13:00 - 13:15	野田 浩希	ミヤコグサにおけるセシウム吸収・輸送に関わる遺伝子の探索
13:15 - 13:30	上野 ひとみ	レタスにおけるVLP(Virus-Like Particle)の一過性発現によるエディブルワクチンの開発に関する研究
13:45 - 14:00	高橋 享佑	葉緑体形質転換による経口ワクチン開発に関する研究
14:00 - 14:15	徳嶋 賀彰	オプシンファミリーの分子系統解析
14:15 - 14:30	平澤 輝仁	カタブレファリス類 <i>Roombia</i> sp. のミトコンドリアゲノムの解読
14:30 - 14:45	山野 安規徳	シストにも有効な抗トキソプラズマ薬シード候補の探索
14:45 - 15:00	松尾 恵梨子	<i>Karenia</i> 属渦鞭毛藻類のハプト藻類由来葉緑体への移行シグナル様配列に関する研究
15:15 - 15:30	久米 慶太郎	Fornicata生物の持つミトコンドリア関連タンパク質に存在する輸送シグナルの探索
15:30 - 15:45	佐藤 瑛生	遺伝学的手法を用いたホヤ母性mRNA研究の展開
15:45 - 16:00	中澤 恵里	脊索、神経管の起源をギボシムシから探る

第三会場 2C411教室

8:55 - 9:10	飯田 顕久	Amyloid β の神経細胞への毒性を緩和する化合物の探索
9:10 - 9:25	鏡 大志郎	アクチン作用薬耐性酵母から精製したアクチンの特性
9:25 - 9:40	島田 悟	Irciniastatin A/Psymberin 耐性酵母の解析
9:40 - 9:55	佐野 遥香	さび病菌冬孢子形成誘導因子精製過程の改善
10:10 - 10:25	太田 あずさ	mtDNA突然変異多発マウスが発現する呼吸欠損の原因解明
10:25 - 10:40	林 千彩音	新奇ミトマウス作製戦略:mtDNA体細胞突然変異の活用
10:40 - 10:55	森島 仁美	ERK activation in murine fibroblast under various growth conditions
10:55 - 11:10	重政 理紗	オルガネラ翻訳伸長因子の変異体がしめす発生異常
11:10 - 11:25		
12:15 - 12:30	阿川 正	C57BL6/Jマウスを用いたアイスプラント抽出物の抗肥満作用の研究
12:30 - 12:45	新井 将人	線虫のストレス耐性に対するキノコ類抽出物の生理作用解析
12:45 - 13:00	小幡 恵里	マウス脂肪細胞と線虫に対するファイトケミカル類の生理作用解析
13:00 - 13:15	永井 卓真	赤ぶどう果皮抽出物による線虫の老化遅延効果の解析
13:15 - 13:30	齋藤 結希	放線菌におけるタンパク質新規生産系
13:45 - 14:00	永久保 利紀	新規酵素のスクリーニング研究
14:00 - 14:15	山野 史織	微生物由来アミノ酸変換酵素に関する研究
14:15 - 14:30	藤木 恵津子	植物由来生理活性物質の微生物による代謝
14:30 - 14:45	王 文琦	タンパク質分解系による炎症応答の新たな制御機構
15:15 - 15:30	福田 智美	酸化ストレスに対する細胞の新たな防御機構
15:30 - 15:45	加藤 恵美	ユビキチン様タンパク質NEDD8を制御する骨髄腫関連因子の解析
15:45 - 16:00		

第四会場 2C412教室

- 8:55 - 9:10 池内 花穂子 酸化ストレス物質により生じるゾウリムシの行動反応とその制御機構の研究
- 9:10 - 9:25 吉田 二千翔 ゾウリムシのpHに対する集合反応に及ぼす順応pHの効果
- 9:25 - 9:40 伊藤 奈都美 ウシガエル味細胞の電気的特性の解析
- 9:40 - 9:55 佐藤 雄太 イモリ肢再生における位置情報の攪乱
- 10:10 - 10:25 阿部 真弓 染色体の高次構造を形成するリンカーヒストンH1バリエーションの機能制御機構
- 10:25 - 10:40 久保木 亮介 視覚認識における視覚的ノイズの影響の実験系構築
- 10:40 - 10:55 小林 彰 *Staphylococcus aureus*におけるカルジオリピン合成酵素のストレス応答メカニズム
- 10:55 - 11:10 加藤 哲男 iPS細胞誘導初期の転写調節機構の解析
- 11:10 - 11:25 加藤 俊貴 ステロイド薬投与によるヒト間葉系幹細胞分化に対する影響
- 12:15 - 12:30 大森 哲朗 出芽酵母細胞壁合成経路におけるポリA鎖分解酵素Ccr4、Pop2とデキャッピング酵素活性化因子Dhh1の機能解析
- 12:30 - 12:45 永田 邦彦 エンドスルファターゼ Sulf1によるヘパラン硫酸修飾と成獣マウスの神経新生の関係
- 12:45 - 13:00 新妻 耕太 自己免疫疾患におけるMAIR-IIの機能解明とヒトMAIR-II相同分子の同定
- 13:00 - 13:15 高見澤 広子 テトラヒメナの13種類の新奇ミオシン;RCC1ドメインを持つミオシン4種類の口部装置への局在と機能解析
- 13:15 - 13:30 弥益 聡志 テトラヒメナの13種類の新奇ミオシン;MyTH4ドメインとFERMDドメインを持つミオシン7種類のGFP結合タンパク質を用いた局在解析
- 13:45 - 14:00 三松 沙織 核内を動く粒子の同定
- 14:00 - 14:15 新井 佑子 ショウジョウバエを使用した統合失調症リスク因子の遺伝学的解析
- 14:15 - 14:30 池尻 光輔 ショウジョウバエを使用した統合失調症リスク因子の遺伝学的解析
- 14:30 - 14:45 本多 隆利 光及び熱遺伝学によるショウジョウバエ幼虫学習パラダイムの開発
- 14:45 - 15:00 恩田 美紀 線虫 *C. elegans* の発生タイミングと寿命に関与する新規遺伝子の解析
- 15:15 - 15:30 小村 達也 昆虫ステロイドホルモン生合成酵素遺伝子の発現に関わる新規Zincフィンガータンパク質の機能解析
- 15:30 - 15:45 天久 朝恒 ショウジョウバエ成虫におけるステロイドホルモンの役割の解明
- 15:45 - 16:00 住友 洋平 細胞性粘菌 *Dictyostelium discoideum* における増殖期特異的走化性関連遺伝子候補の逆遺伝学的解析